教育費計画書
2019年度版

スカラシップアドバイザー　ヨースケ城山

スカラシップアドバイザーとは？

■日本学生支援機構が認定の「**スカラシップ・アドバイザー**」として、主に新高校３年生とその保護者を対象に、大学等への進学のための資金計画や奨学金を利用するための知識を学校の授業の中で提供します。

新しい制度で、まだまだ浸透していない「**スカラシップ・アドバイザー**」ですが、奨学金を利用する意味やその正しい使い方を理解して、将来の働き方やお金の使い方を学ん頂くためにも、お役にたてればと思います。

■この資格を2018年10月に私が取りました。ですから高等学校の要請で私が奨学金の概要を説明する機会が2019年度からあるかも知れません。

■ですから奨学金のプロが皆さんたちの後ろには控えていると思い。大船に乗った気で安心してください。

2020年度4月から給付型奨学金の支給が決定

・2019年2月12日政府は高等教育無償化で2020年度から、大学などに通う低所得世帯の学生に、返済不要の給付型奨学金を支給することを閣議決定した。

- 教育を受ける機会を保障するとともに、子育て世帯の負担軽減を図ることで少子化対策につなげる。今年の通常国会に子ども・子育て支援法の改正案などを提出し、早期成立を目指す。
- 20年度からの高等教育無償化についても制度の詳細を決めた。
- 大学、短大、専門学校、高等専門学校に通う低所得世帯の学生に、返済不要の給付型奨学金を支給する。住民税非課税世帯の場合、国公立大は自宅生が年間約35万円、自宅外約80万円。私立大は自宅生約46万円、自宅外約91万円などとする。あわせて授業料減免も実施。国立大は約54万円免除し、私大は最大約70万円減額する。
- 　住民税を支払う世帯でも一定の年収を下回れば、住民税非課税世帯の三分の二もしくは三分の一の額を支援する。年収が低くても一定の資産があれば対象外となる。

2020年度4月から給付型奨学金の支給が決定2

・2019年度までの給付型奨学金

■住民税非課税世帯が対象　■月額2万、3万、4万円の支給のみ（自宅内外・公立私学）

・2020年度からの給付型奨学金

■年収370万円未満程度から住民税非課税世帯が対象

※私の家はここに入ります。

■返済が不要な給付型奨学金の支給と、授業料などの減免の2本柱。

■最大で70万人程度が対象になる。2017年度全国大学生数285万人

大学進学後の支給打ち切り条件とは？

- 次のいずれかの場合には、直ちに支援を打ち切る。

- なお、その態様が著しく不良であり、懲戒による退学処分など相応の理由がある場合には支援した額を徴収することができる。
-

ⅰ 退学・停学の処分を受けた場合
ⅱ 修業年限で卒業できないことが確定した場合
ⅲ 修得単位数が標準の５割以下の場合
ⅳ 出席率が５割以下など学習意欲が著しく低いと大学等が判断した場合

大学進学後の支給打ち切り警告条件とは？

- 次のいずれかの場合には、大学等が「警告」を行い、それを連続で受けた場合には支援を打ち切る。

- ⅰ 修得単位数が標準の６割以下の場合
- ⅱ ＧＰＡ（平均成績）等が下位４分の１の場合
- （斟酌すべきやむを得ない事情がある場合の特例措置を検討中）
- ⅲ 出席率が８割以下など学習意欲が低いと大学等が判断した

住民税非課税世帯の給付型奨学金の金額

高等教育無償化の支援内容
【住民税非課税世帯の場合】

※金額はおよそ

給付型奨学金

大学、短大、専門学校			
▶国公立		▶私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外
35万円	80万円	46万円	91万円

〈高等専門学校生は大学生の5～7割程度〉

授業料減免（上限額）

	▶国公立		▶私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	28万円	54万円	26万円	70万円
短大	17万円	39万円	25万円	62万円
高等専門学校	8万円	23万円	13万円	70万円
専門学校	7万円	17万円	16万円	59万円

世帯年収		非課税世帯	270～300 万円未満	300～380 万円未満
授業料	国公立	54 万円	36 万円	18 万円
	私立	70 万円	約 47 万円	約 23 万円
入学金	国公立	28 万円	約 19 万円	約 9 万円
	私立	25 万円	約 17 万円	約 8 万円

380万円未満世帯の授業料・入学金免除額（推定）

- 給付型奨学金により、年収300万円未満の世帯は3分の2、年収300万円から年収380万円未満の世帯は3分の1を支援する

大学受験の際の塾費用は50万円程度まで

■塾通いが必要な場合

- 但し上限は一人50万円程度までとなります。
- その中でも工夫して必要な単科生や特待生制度などを利用してください。
- 例（特待生制度）模試の成績で塾代が免除される制度
- 特定の模試にて偏差値60以上なら半額免除など

大学進学費用はどの位かかるの？

・大学の受験費用

センター試験　3教科以上　18,000円
　　2教科以下　12,000円

私立大・一般入試（平均）
1校につき　約35,000円

よって一般受験の場合5校位が受験の目安です。
・大学受験費用平均　20万円（交通費含む）

推薦・AO入試について

- 保険機能として自己推薦やAO入試を受けて滑り止めの大学を確保しておいて下さい。（入学金27万円位は捨て金となります
- 浪人となるよりは1校は合格している方が良いので是非、推薦での合格もおすすめします。捨て金は気にしない
- ただし指定校推薦は断ることが出来ませんので指定校推薦で合格した場合はそこに行く事が絶対条件となります。
- 捨て金とは入学納付金の事で納めたら返納されないお金となります。でも保険機能があります。

一般入試について

- 一般入試も5校まで受けて構いません。
- ただし、受験スケジュールによっては第1志望の大学の前に第2志望の大学の入学金の支払い期限がやってくることがありますのでここでは捨て金の出ないような受験スケジュールを上手に作成してください。

文部科学省　私立大学等の平成28年度入学者に係る学生納付金等調査結果について

※毎年授業料は値上がりしている。

	授業料	入学料	施設設備費	合計
私立大学	877,735 （1.1）	253,461 （△1.0）	185,620 （0.6）	1,316,816 （0.6）
私立短期大学	699,512 （0.6）	245,354 （△0.3）	172,468 （0.5）	1,117,334 （0.4）
私立高等専門学校	455,478 （0.0）	167,826 （0.0）	114,261 （0.0）	737,565 （0.0）

文部科学省　私立大学等の平成28年度入学者に係る学生納付金等調査結果について

※毎年授業料は値上がりしている。

■4年間合計学費　純粋に学費のみで計算　449万円

- ①初年度　授業料、施設管理費、入学金　約**131**万円
- ②**2**年目　授業料、施設管理費　約**106**万円
- ③**3**年目　授業料、施設管理費　約**106**万円
- ④**4**年目　授業料、施設管理費　約**106**万円

もし380万円未満の給付型奨学金を貰えると

※ものすごく家計にやさしい！！！

■4年間合計学費　純粋に学費のみで計算　449万円－100万円＝349万円となります。

- ①初年度　授業料、施設管理費、入学金　約**131**万円－**31**万円＝**100**万円
- ②**2**年目　授業料、施設管理費　約**106**万円－**23**万円＝**83**万円
- ③**3**年目　授業料、施設管理費　約**106**万円－**23**万円＝**83**万円
- ④**4**年目　授業料、施設管理費　約**106**万円－**23**万円＝**83**万円

もし380万円未満の給付型奨学金を貰えると

給付型奨学金はこういう用途に使う。

私立自宅の場合　年間15万円支給

こちらは全て奨学生本人にお渡しします。

■教科書代
■入学式スーツ代
■リクルートスーツ代
■就職活動費用
■通学定期代
■部活サークル費用代
■資格取得費用代

下記のお小遣いは自分で稼ぎましょう
■昼食代（学食代）
■旅行代金
■通信費

給付型奨学金の渡し方

- 年間15万円の給付金が貰えますが、入学前にはこの給付金は入りません。
- 大学入学後、進学届というのを学校に申請してから夏頃に入ります。
- 進学届はスカラネットで申請が必要。
- $ それまでの進学にかかる諸費用は親の方で立て替えます。
- 夏頃に入る給付金から諸経費を相殺してお渡しします。
- それ以降は自分で給付金の管理を行ってください。
- 通帳と印鑑をお渡しします。

家庭から出してあげれるもの

授業料・入学金の減免分は直接大学側の入学、進学費用に充当されます。。

■大学受験費用
■大学授業料
■大学施設利用料
■車の免許代（必要に応じて）
■成人式費用

2020年度奨学金スケジュール

事項	2019年度				2020年度～
給付型奨学金 ・生徒が高校を通じて、日本学生支援機構（JASSO）に申込		【進学前の予約採用手続】 ①採用申込 ・経済状況：生徒本人からJASSOにマイナンバー等を提出 ・学業：高校等が生徒の進学意欲等を確認、JASSOに報告 ②JASSOによる要件の確認 ③採用候補者の決定		<既に大学等に在学している学生> ・経済状況：学生本人からJASSOにマイナンバー等を提出 ・学業：大学等が学生の学習状況を確認、JASSOに報告 ※年度内に手続を実施するのは初年度のみ	支給開始 （進学後）
授業料等減免 ・進学後、学生が大学等に申請					【大学等での手続】 ①減免申込 ②大学等による要件の確認（JASSOと連携） ③授業料等の減免

春の奨学金説明会には必ず参加する事

高校3年生の4月から5月にかけて学校で奨学金の説明会が行われます。まずこちらに参加することが必須です。2020年入学者は6月になるかも？

その時に必要書類が配られます。私と一緒に作成しましょう。（本人と家族で作成します）

必要書類を学校に出してからスカラネットのID番号が貰えます。そこからログインして提出した書類の登録をして行きます。（本人と家族で登録します）

事前予約採用型なので入試前に奨学金の採用の不可が決まります。

大学在学中の注意点

自分でスカラシップパーソナルにログインして継続願を申請します。これを忘れると奨学金の継続は出来ません。

ログインIDは必ず忘れないように控えを取りましょう！！

詳しくは直接・私から説明します。

奨学金の申請は自分で行います。

- 高校生であっても自分で行います。
- ①奨学金説明会の参加
- ②申請書の記入、学校への申請
- ③スカラネットの登録、申請

奨学金の申請は自分で行います。

- 大学生になってからも自分で行います。
- ①入学後の奨学金説明会の参加
- ②申請書の記入、学校への申請
- ③スカラネットの進学届申請
- ④スカラネットパーソナルでの継続願の提出

スカラネットとスカラネットパーソナルの違い。

- スカラネット　高校3年生から進学後進学届提出まで

★奨学金を申し込むときに使うサイト

①高校3年次　奨学金の新規申し込み

②大学進学後　進学届の提出

・スカラシップパーソナル　進学届提出後から卒業まで

★奨学生が利用を開始してから卒業まで使うマイページ

①毎年の継続願の提出や、奨学金の管理に利用

最後に給付型奨学金の注意事項

年間15万円の給付型の奨学金が貰えますが、管理するのは自分です。足りなくなったといっても追加はありませんので自分で何とかしてください。

自分の努力不足で給付型奨学金が貰えなくなった場合はこの年間15万円はなくなります。自助努力でお願いいたします。

100％確実に給付型奨学金の申請が通るわけではありません。また自己申告制なので各種届を忘れた場合の補償は出来かねます。

当然、親としては何としてでも通すつもりはありませすが、期待に沿えない事もあるかもしれません。